

第9期第1回豊中市文化芸術振興審議会

日 時 令和5年（2023年）1月13日（金）午前10時00分～12時00分
会 場 豊中市役所第二庁舎 3階大会議室（西）
委 員 委員：橋爪（会長）、青木、天羽、上田、後藤、永田、原
欠席：江口、山下
事務局 長坂、玉富、林、小林、石橋、原田（豊中市）
傍聴者 0名

[開会]

事務局○委員の任期更新（令和4年9月1日から令和6年8月31日まで）。

○委員、事務局の紹介

○本日は第9期になって初めての会議であり、会長の選任が必要である。豊中市文化芸術振興審議会規則により、会長決定までの間、市長が議長を行うことになっている。本日は、部長の長坂が代理で務める。

1. 会長の選任について

議 長○どなたか立候補、あるいは推薦はないか。

委 員○橋爪委員に引き続きお願いできないか。

議 長○ご推薦のあった橋爪委員に会長をお願いすることについて、異議はないか。
（異議なし）

議 長○では、橋爪委員に会長をお願いすることとする。議長を交代する。

2. 職務代理者の指名について

事務局○職務代理者の選任については、豊中市文化芸術振興審議会規則により、会長が定めることになっている。

会 長○委員の期間が長い原委員にお願いする。

3. 第9期審議会の役割及びスケジュールについて

事務局○（資料1に基づき説明）

会 長○何か質問があれば、後ほどまとめてお聞きします。

4. 豊中市における文化芸術事業実施状況について

事務局○（資料2-1、2-2に基づき説明）

会 長○豊中市の主催事業についてご説明いただいた。国の法律を受けて市の条例が制定され、取組みが進められてきた。条例制定からの歴史はまだ浅い。この審議会は、文化芸術推進基本計画に沿った施策が実施できているかを見ていく役割を担っている。今回、新しい委員を迎え、より良い議論ができればと思う。この間の大きな事業として、市民会館の建て替えがあり、文化庁長官の表彰も受けている。現在は、南部地域活性化と子どもたちへの支援が重点となっている。

委員○南部地域活性化の取組みというのは、今説明があった中ではどれが該当するか。
事務局○世界のしょうない音楽ワークショップと音楽祭が該当する。毎年開催しており、半分くらいはリピーターの方が参加されている。このほか、こども園のアーティスト派遣事業も現在、南部の園を対象に行っている。
委員○ここに記載されているのは全部ではなくて、主な取組みか。共催も含めているか。
事務局○全て書いているわけではないので、一部抜粋という形でご紹介している。主催で進めているものを中心に書いている。

5. 第8期第4回審議会の振り返りについて

事務局○（資料3に基づき説明）
会長○助成金については、設定した分野に関する取組みが少なく、見直したいということで、継続審議となっている。後ほどこの点に関して意見を伺う。

6. 文化芸術団体への支援について

（1）文化芸術振興助成金の今後のあり方について

事務局○（資料4-1、4-2、4-3に基づき説明）
会長○現状と効果、課題ということで説明いただいた。子供たちへのプログラム、地域課題解決、音楽ホールでの公演が中心になっている、音楽以外の分野でも事業をという点、同じ団体の応募に対し、新規の方の応募がなかなかいただけないという課題、それを改善したい等、本件は審議会の委員の方に審査いただいてきておりまして、本件全般に関しまして、ご意見ご質問あればお願いします。
委員○美術を中心にした事業が少ないということや、対外的にやっていることが伝わっていないという点について。補助金を出して細かな事業を行っていることはわかるが、アートフェスティバルのような、まとまった大きな取組み、計画はないのか。群馬県中之条で中之条フェスティバルに携わったが、若手のアーティストに使われなくなった廃墟・酒蔵等を利用いただき創造活動、作って展示する取組みがだんだん有名になっていき、今ではアート業界では良く知られるようになった。大きなストーリーがあった方が良い。
事務局○施行としてはやりたいと考えている。音楽分野に関しては、音楽月間を紹介したが、市が主催するもの或いは民間の方が助成金を使ってPRという形でまとめて音楽月間としてアピールする取組みをしている。美術分野は我々の課題でもあり、助成金を使った民間の応募の件数は圧倒的に少なく、私たちが独自でやっている事業も少ないので、これからの課題と考えている。
子どもたちへのアートの取組み、割と大きめのアートイベントをやったこともあるが、なかなか音楽と同じような規模にまでもっていけないというのが現状。
会長○対外的なアピールとして「音楽あふれるまち豊中」ということでブランド作りをしているが、どこまで周知いただいているのかが第1の課題。本計画の前の条例ができた時の考え方として、従来豊中市の文化芸術政策は大学や地元企業との連携がなかったため、大阪連携・企業連携、大阪大学と大阪音楽大学との連携をしようというものがある。

特に大阪音楽大学との連携が非常に重要で、音大の周辺、まちづくりでもストリートファニチャーを楽器にしているのが、多くの方は知らない。「音楽のまちしょうない」をまずアピールすることが必要ではないか。

美術系のことは、その核となる美術館を作る計画があったが、ホールの中にギャラリーは作ったものの、アートセンターや美術館は断念という形になった。その時の考えが基金につながっていて、助成金は美術館構想のために準備をした財源から助成をおこなっている。それを進めようとした時に、音楽関係の応募があって、美術系のプログラムがなかなか切り拓けないのが、課題となっている。

音楽のまちに、いかに美術系をコラボしていくのかという形を考えていきたい。今回の次の助成では、音楽と美術のジャンルの組み合わせというところに思いが含まれているとご理解いただければと思う。

委員○イベント紹介を聞いたなかで、私が知っているのは「豊中まちなかクラシック」と「ストリートピアノ」で、あとはほとんど知らない。音楽のまちだっていうことをいろんなところで広く市民に声をかけあっても良いのでは。文化芸術振興助成金の今後の在り方について、2番目の評価の課題で、プロデュース専門の主体が少ないということで、プロデュースする主体はどこを想定しているか。演劇・音楽をやっている事業のプロデュースなのか、豊中市がこういう方向でこのようなイベントをしてほしいというのがプロデュース的な考え方のことなのか、どちらになるか。

事務局○前者。助成金を申し込んでくる方を見ていると、音楽が多いということと通じるが、演奏者が自分で企画してやるパターンの申込みが多い。イベントを企画することに関心を持っている方の応募が少なく、演者自身が中心になって企画するという事業が非常に多い。自分たちの発表に重きを置くのが、今までの音楽分野の助成金の課題でもあったと考えている。

委員○この審議会としての活動ではないと思うが、豊中市側でいろんなイベントをプロデュースできるようなシステムを作り、「こんなものはどうですか」という提案も必要ではないか。例えば、これはひとつの提案だが、豊中市民が役者になるようなお芝居を作り上げ、ある種のプロデュース的なものを提案できるようなシステムなどでもいいかもしれない。

会長○ありがとうございます。他いかがでしょうか。

委員○お二人の意見にほぼ賛成です。現状を拝見して、各年で助成対象は11件とか7件となっている。年度の応募件数はどのくらいか。

事務局○20件程度は来ている。そのため、助成対象となるのはこのうちの半数ほどである。

委員○前回の時は、子ども向けコースと地域課題解決コースというのがあり、子ども向けというのはわかりやすく、応募しやすい。地域課題解決のコースはワンクッションあるというか、ちょっと難しい。

今回の分を見ても、2番の方はやはりちょっと難しいといか、どうしたらいいかわからないと思う。福祉や産業になるだろうが、こういった文化芸術以外の異なる分野の内容を取り入れることは応用芸術とよばれ、芸術を教育や医療などに活用していくことは海外ではよく行われている。日本でそれがあまり知られていないの

は、専門にしている人があまりいないという背景がある。また、プロデュース専門の主催が少ないことについては、アマチュアは自分たちの楽しみのため、プロフェッショナルな方は収入を得るためであり、その間となる応用的なプロデュースをする動機や意味はまだよく伝わっていない。そこが問題なのでは。

出演者の方が自分のイベントをやりたいというのが多い現状であり、そうでなければだれが応募するのかを考えなければならない。ファシリテーターが間に立って応用的にアートを使って、産業など別の文化に引っ張っていくという考え方、人材を育てていく必要がある。いきなりプロデュース専門のイベントが少ないと言われても、大学との協働を図っていくことが必要で、それを謳わないと市民には伝わらない。

また、ジャンルが偏っていることについては、豊中が音楽のまちということで音楽の需要があるのだと思われるが、音楽で育まれるものと他のアートで育まれるものが違ってくるので、いろんなジャンルを包括的に行う必要はあると思う。

それぞれ事業が小さく、ばらまいている印象があるので、まとめて年度の成果を発表するなど、一定期間のまとまりのあるものとして発表することが重要ではないか。これは今後の課題として考えてほしい。

委員○(2)はイメージしにくいですが、実際に文化芸術センターで、音楽と美術の取組みは2年ほど前に行われていた。このような本市で行われた事例を、紹介してみてもどうか。審査部会では助成金を得られた人たちの成果報告を聞いているが、それを共有しているわけではないので、これまでの事例やこちらでイメージする事例をもう少し紹介していただくといいのではないかと。皆さんとても真摯にやっているのに、活動が前進していかないなど、課題がかなりある。

委員○Bの方では、基盤強化をめざすことであつたり、ネットワークを作ったりすることは入るのではないかと思うが、いかがか。例の中では、あくまで催しものをするというのが強く出ている気がしますが、それだけではないと思う。

次に、音楽と美術等と書いてあるが、括弧をつけると、違うジャンルを組み合わせるといった意味合いが伝わるのではないかと。

もう一つは場所のこと。古民家や屋外とあるが、屋外の実施については天候によって開催できないこともよくある話で、公的な補助金なので、天候で実施できない場合に経費として認めるのか認めないのか、雨の時に別の会場を押さえていて、そのための費用は認めるのか認めないのか、といった細かいことが問題になると思われる。そのあたりも事前に想定していた方がよい。

Aの方では、子どもを主役にするということの中に、例えば子どもへの取り組みを行うアーティストやファシリテーターの育成をするような人材育成的なこともあるかと思う。Bとも重なるが、催し物を行うだけでなく、育成やネットワーキングのことも含めて書き込んでも良いかもしれない。

また、全体を通して、昨年からずっと同じようなことで2分の1の助成が行政の枠組みとして動かないということがわかってはいるが、なかなか受益者負担を望めないタイプのもの、例えば子ども自体に参加費をたくさん取ることはできないので、そうした活動を行っていくのに2分の1で主催者側が負担をしなければい

けないのかというところについても、時間はかかっても議論していくことというのはお願いしたい。

委員○2番目のところに、提案してくる方に音楽と美術を組み合わせてくださいというのはとても難しくハードルが高いと思われる。このような組み合わせを考えるのはむしろプロデュース側。ヨーロッパとしてよくやっているような、音楽・美術・演劇・パフォーミングアーツなどのイベントを夜通し街中でできるような全体の枠組みを作ってあげ、募集し作品に参加してもらおう仕組みを作った方がいいのではないか。

応募される方に、他分野と組み合わせてください、社会的問題の解決を提案してくださいというのは少し酷かと思う。今回初めてこのあたりに来たが、岡町商店街でパフォーマンスをするのは良いと思うし、ホールの中でやっているイベントは来た人にしか見えないが、街中でやれば市民の目に見えるようになるので、柔軟に地域を使っていくことも必要かと思う。

会長○音楽月間はそこをめざしている部分があり、商店街や飲食店でのコンサート企画などに取り組んでいる。

委員○NHKのニュースでストリートピアノの特集を見たが、あれは市役所側からオファーしたのか。

事務局○こちらからオファーしたわけではないが、ストリートピアノは「音楽あふれるまち」の象徴的な取り組みと考えており、昨年末に読売テレビの情報番組で、今月はNHKの情報番組で取り上げてもらった。BS 街角ピアノの取材も既に終えており、放映してもらうことになっている。

実際に音楽の取り組みをしていく中ですべての事業を市民の方にお伝えするのは難しい部分もあるので、パンフレット等を作ってPRはするが、なかでも象徴という形でストリートピアノを公園に持ち出すなど、屋内・屋外問わずいろいろな使い方ができる。PR媒体としての役割をしている。

委員○ホールに行ったらパンフレットがある、等の環境づくりをしているところもある。何をしたらどれだけの人の目に触れるかをふまえ、より市民に情報が伝達できるような方法を考えてもらいたい。

委員○産業分野は福祉分野より更にハードルが高いように思われる。企業をすでにいくつか選んでおいて、そこにアーティストが応募して、そこでマッチングをするなどのおぜん立てが必要だと思う。産業分野と書かれるからには、他の委員が仰るように、枠組みを用意してあげる必要はあると思う。

会長○本件は次回で5年目になるので、見直しなどいただければと思う。公演や展覧会など、発表するアーティスト向きに応募する形になるので、人と人をつなぐシンポジウム、フォーラムなどの事業が採択されるような形になればと思う。

毎年5月の応募された方の発表会の場が、ネットワークの場になると想定されているかと思しますのでこの場でご報告をお願いしたい。

募集が来月から始まるので、今日の意見をふまえ、事務局は(2)をどのようにしていくか。

事務局○貴重な意見をいただきました。全てを今年度受け止めていくには、できるだけ受け

止められる部分は受け止めてさせていただいて、最終の形はメールで募集要項の形ではご報告はさせていただく。福祉分野、産業分野、大上段に構えた書き方ですが、ネットワークとか人をつなぐ取り組みをどう取り入れていくか、検討したい。会 長○では先の案件に進みます。

(2) 日本センチュリー交響楽団の活動支援について

事務局○(資料5に基づき説明)

委 員○ふるさと納税型クラウドファンディングでは、どれくらい集まったのか。

事務局○星空ファミリーコンサートを対象に実施し、初年度は500万ほど、2年目は300万円ほど、3年目の今年度は300万円を目標にして180万円くらいだった。

委 員○センチュリー交響楽団は、豊中のホールで練習しているのか。

事務局○練習場所としては、服部緑地の大阪府の施設を借りている。

委 員○本拠地のホールというのは、豊中市のホールのことか。

事務局○シンフォニーホールも本拠地として使われているが、豊中も本拠地の一つ。豊中の文化芸術センターで、「豊中名曲シリーズ」とタイトルつけた定期演奏会が開かれている。

委 員○若い人たちは、アイドルのコンサートには何万円も使っているが、クラシックコンサートにはあまり行かず、自分が行く所だとも思っていない。そこを崩していかないといけない。なかなか難しいと思うが、せっかく大学があるので、学生さんがたくさん聴きに来てくれるようなことを何かできないか。若い層の観客を開拓していかねば先細りしていく。市民に受け入れられ、愛されないと、長続きしない。

事務局○大学ではないが、文化芸術センターの「豊中名曲シリーズ」は、昨年度から、指定管理者が若いライターを入れてコンセプト作りから一緒に考え、年間の演奏曲を決めていく形態を取り、かなりテコ入れをしている。新聞にも取り上げられ、2年目の今年度は、お客さんが多くなっている。そういう面での努力はしている。

会 長○冊子の4ページに、年間の演奏会が掲載されている。

委 員○音楽文化全体に構造的な変化が起こっていて、従来のクラシック演奏は、そのままでは存続できない状況になっている。豊中の楽団だと思ってもらえる意識づくりが必要である。文楽劇場は、大阪府からの補助金が無くなったが、すごく努力をしており、アウトリーチをたくさんしている。アウトリーチ的なものがあれば、市民も親近感を持つ。

○根本的な文化に対する考え方が変わってきている。今までどおり補助すれば良いということではなくなっている。海外ではみんなシーズン券を買う。豊中市のホールがせっかくあるのだから、市民にシーズン券を配り浸透させるなど、愛されないと、いくらクラウドファンディングをやっても長続きしない。浸透していくようなことをやっていかないといけないのではないか。

会 長○クラウドファンディングは、呼びかける側の熱意がなければいけない。楽団側はどう思っているのか。

事務局○これまでに楽団独自のクラウドファンディングも実施しており、返礼品も用意されていた。楽団自身の呼びかけは大事である。

- 委員○市民として、親近感はない。コンサートは行われているが、関わり合いとして、密接な部分が出てくれば感じるのかもしれない。我々が支えているという意識を持てるかどうかは、距離の近い楽団となっていけるかどうかである。
- 委員○市民ホールとして、コンサートのシナリオ作りはやっているが、楽団としても必要である。ニューイヤーコンサートが必ずあり、それがここでしかないという目立つことを考えていただくと良い。シリーズ自体には著名な方が出演されているようである。
- 委員○学生がわからないような曲目ではなく、たとえばジブリシリーズをするなど。
- 委員○ドラゴンクエストなど、ゲーム音楽にも名曲がある。
- 委員○もう少し、音楽として間口を広げても良いのでは。クラシックだけではない、音楽のまちづくができないか。高槻では、商店街からジャズが始まった。市民による盛り上げも必要である。
- 会長○行政がフェスを立ち上げて、実際の売り上げは地元市民の方にということができれば、関心を持ってやってくれるのではないか。
- 日本センチュリー交響楽団にも、もっと自らの活動への支援を市民にアピールする努力を求めていく必要があるが、とはいえ音楽あふれるまち豊中の取組みに協働して取り組む日本センチュリー交響楽団の活動そのものに対する市のふるさと納税型クラウドファンディングについては、審議会としても理解できる場所である。

7. その他

- 事務局○次回の審議会は夏頃に開催したいと考えている。後日、日程調整する。
- 助成金の見直しについては、本日の意見を踏まえて修正案を作成し、会長と調整して決定することとしたい。
 - 会議録については事務局で作成した案を、後日、委員の皆様を確認後、確定させていただく。会議録は市のホームページで公開する。

[閉会]

(以上)